

病院／看護DXの推進事業として『ウェアセーフ』採択

コールボタン・人感センサー等は920MHz帯の無線接続の為、WiFiと干渉せず、配線工事は不要です。
 バッテリ寿命は10年、定期的に通信し端末を死活監視します。

(*) 現在は「離床」の姿勢検知に対応済み
 AIエージェント連携、他の姿勢検知は検証中

AI エージェント(*)

- ①看護師の「申し送り」の自動化
 - ・自動記録・共有
 - ・必要事項のピックアップ
- ②新人看護師のサポート
 - ・リアルタイムガイド
 - ・専門知識の検索
- ③モニタリングから予兆検知
 - ・リスクスコアの自動算出
 - ・行動予兆検知
 - ・原因分析サポート
- ④カルテの音声入力自動化
- ⑤患者個別のケアプラン支援

各種端末へ 通知



AIカメラに内蔵のDLPUで
 姿勢検知モデルを搭載した
 AIアプリにより姿勢検知～通知

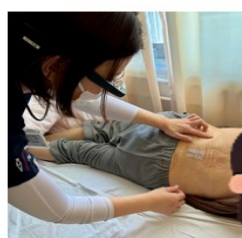


Stratus ztC Edge FTサーバ

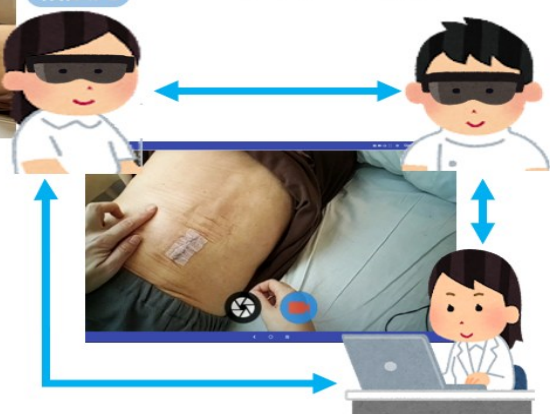


<スマートグラスから容易に相談（新しいコミュニケーション手段）>

①自身のグラスのカメラ映像を他の看護師や医師と共有しハンズフリーで相談



相談元



(駆け付け不要)



Wi-Fi通信
 Android端末



【別の病室のカメラ映像】



②遠隔のカメラ映像を他の看護師や医師と共有しハンズフリーで相談

(別の部屋のカメラ映像への切り替えは音声コマンドで切り替え)



① AI 姿勢検知・コール・センサ通知を一元管理しカメラ映像を確認

カメラのスピーカからテンプレート発話



姿勢検知は精度に課題のある
離床センサーを代替

*iPhone, Apple Watch, iPad, PC, 管理端末、
インカムで 通知受信&ステータス管理



効果：
*効率化（移動距離の大幅削減）
*精神的負担の軽減

② スマートグラスの視点映像を共有したコミュニケーション

ハンズフリーの現場コミュニケーション

ナースの精神的な負担軽減

